

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

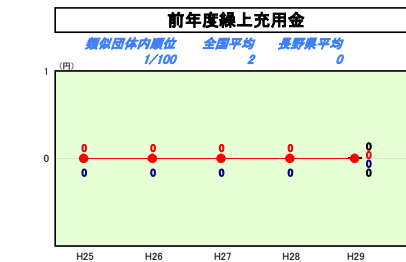
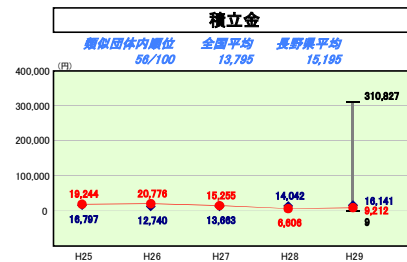
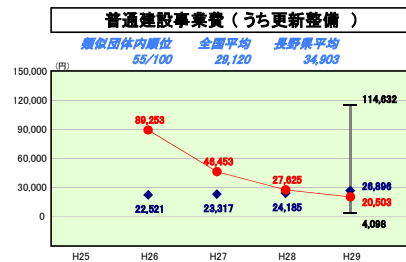
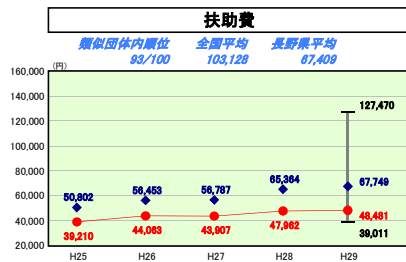
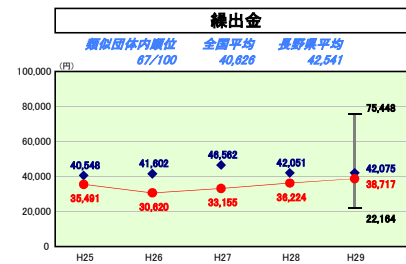
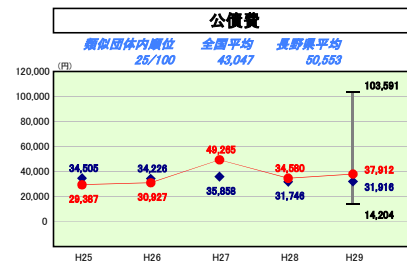
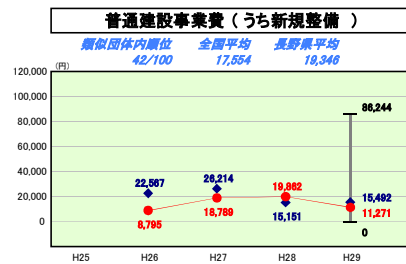
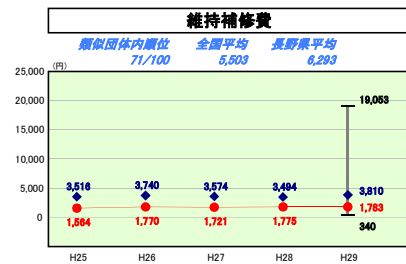
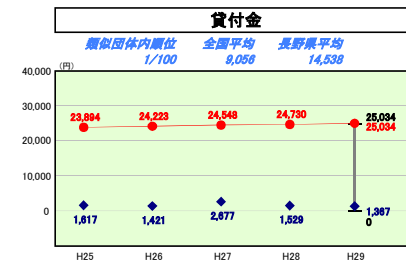
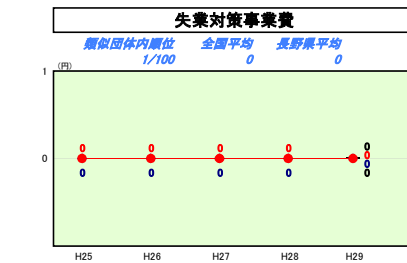
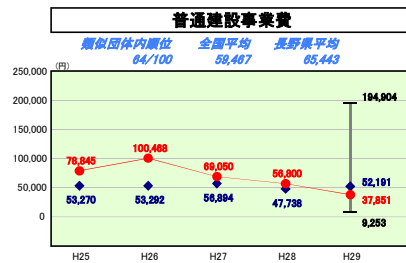
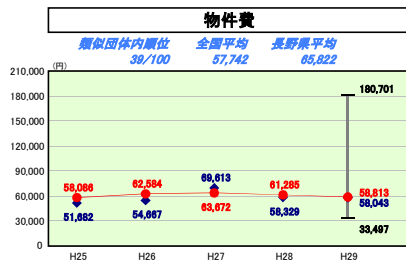
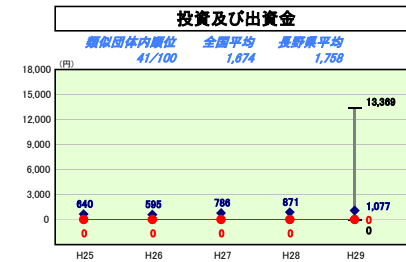
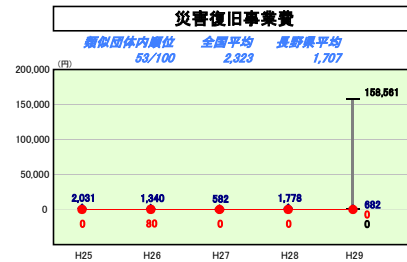
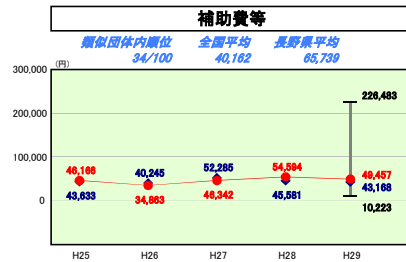
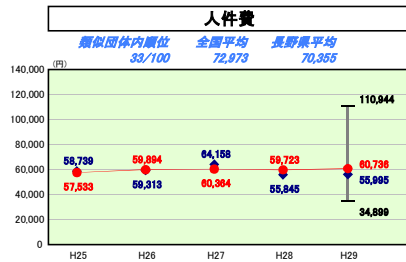
平成29年度

長野県下諏訪町

人口	20,492人(H30.1.1現在)	実赤字比率	-	%
うち日本人	20,210人(H30.1.1現在)	通算実赤字比率	-	%
面積	68.87km <sup>2</sup>	実公債費比率	1.7	%
収入総額	7,901,886千円	実負担比率	81.0	%
歳出総額	7,540,956千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-1	
実収支	346,814千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2	
標準財政規模	4,784,542千円			
地方債現在高	9,549,887千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析**

類似団体と比較して16項目中14項目については概ね同程度の数値となっている。他団体との差が見られる項目については、以下の要因によるものとする。最も他団体との差が大きい貸付金については、勤労者の生活安定や中小企業等の円滑な資金調達のための各種融資制度を充実させているためと思われる。扶助費については、他団体と比べ低い数値で推移しているものの、当町の高齢化率は他市町村に比べても高く、社会福祉にかかる決算額が増額傾向にあるため、将来の扶助費増加が懸念される。

年度の推移で特徴的なところとしては、普通建設事業費については、平成23年以降、大規模な地震災害等に備え県下でも数少ないと思われる大型輸送ヘリコプター対応のヘリポート等多くの機能を完備した赤砂崎公園整備事業や、児童生徒の安心安全な教育環境を確保するため、現行の建築基準法の耐震基準に満たない老朽化した小学校の改築事業、災害発生時の復旧・復興の中核となる庁舎の耐震改修事業といった大型投資的実業を実施してきており、これまで類似団体平均、全国平均、長野県平均と比べて高い水準を維持してきた。平成29年度においては、リサイクル施設整備事業費の減(△270,810千円)に伴い対前年度比18,949千円の減となったことで、類似団体平均をここ数年で初めて下回る結果となった。公債費については、平成27年度の数値が突出しているが、これは繰上償還をしたことが影響しており、この影響を排除した経年推移では過去に実施してきた大型建設事業の地方債の償還が本格的に始まってきていることから増加傾向となっている。